

一般質問



全国共通の「まちの駅」のぼり旗(写真は本庄市内)



佐野千賀子 議員

「まちの駅」設置の取り組みを

答弁 時間をかけて研究します

問 「まちの駅」とは、まちを歩く人のための“おもてなしの場”で、道の駅と違い、民間でも設置でき、多額の費用もかかりません。人が集まる拠点となり、町の活性化につながります。全国共通ののぼり旗等を設置、トイレが利用でき、休憩場所があり、情報案内をしたり等の4つの機能を備えれば、庁舎をはじめとする公共施設、商店や企業、お寺や病院、塾など、既存の施設に設置できます。商工会や観光協会と連携をとりながら設置するお考えがあるか伺います。

答 実践者の主体性が重要な事業だと思うので、商工会や観光協会とともに研究していきたいと考えています。

問 我が町には、山あり谷あり水あり、そして文化財を生かした回遊ルートあり…と、町民をはじめ町外からも多くの方々を訪れます。そうした方々から「おトイレが少ない。もっと整備してほしい」との声が多く寄せられています。「まちの駅」の設置は、トイレの対応から、「マイボトル」へのお茶の提供、防犯や貸し傘、赤ちゃんの駅を併設する等々、元気なまちづくりにもつながり、夢は広がるばかりです。具体的な時期や研究の手順について伺います。

答 新しい取り組みなので、今後時間をかけて研究していきます。

▽その他の質問

・「パパ・ママ応援ショップ」の周知徹底と協賛店舗の拡大の取り組みについて



健康管理に努めてほしい(左: 血圧測定 右: 始業前のストレッチ体操)



佐藤理美 議員

町職員の健康管理は

答弁 健診等で把握しています

問 ここ数年、「寄居町新生チャレンジプラン2006」に基づく職員数の削減、課の再編を行ってきました。そのため、1人1人の仕事量は増加していると考えます。町民へのきめ細やかな窓口サービスは重要課題でもあり、行政に対する評価の7割が“窓口で決まる”と言われています。そこで、職員の健康をどのように把握、管理しているのか伺います。

答 各所属長を通じて、あるいは健康診断及び人間ドックの検査結果等により把握しているところであり、健康留意の呼びかけ等を行い、健康管理に努めているところです。

問 職員の健康管理の面から見ても、長時間の超過勤務は好ましくないと考えます。ノー残業デーの推進は、消費電力の削減や職員の健康管理の面からも定着すべきと考えますが、いかがですか。

答 水曜日をノー残業デーとして推進してきましたが、定着が進んでいないところもあり、今後も定着に向けて対応していきます。

問 職員のための「産業医」の設置について伺います。

答 現在、町では産業医の設置はしていませんが、今後、職員の健康管理を進める中で設置を検討していきたいと考えています。

▽その他の質問

・地球温暖化防止対策の取り組みについて



燃料油等の値上がりに対する支援策を



原口昇 議員

地元建設業者への支援策を

答弁 動向を見ながら検討します

問 公共事業、民間事業の縮減と、これらを中心とする建設投資の低迷を背景に、業界の経営改革と淘汰が進んでおり、現在、建設業者を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。そこで、地元建設業者支援のため、地域密着型建設業のあり方を検討し、技術力や地域貢献も加味して、地域社会に貢献している企業をより高く評価すれば、地域の産業や雇用の確保につながり、町の発展に寄与するものと考えます。

また、鋼材や燃料油の値上がり分を公共工事の落札額に上乗せできる制度を適用する動きが地方自治体にも広がってきていますが、寄居町でもこのような制度を取り入れてはどうでしょうか。公共事業の冷え込み中、新分野進出で経営基盤強化を目指す建設業者に支援策はとれないか、伺います。

答 入札参加において、ボランティア活動や清掃活動などの地域貢献度を加味することについては、判断基準評価の方法など貢献度の判定が困難であり、考えていません。

国や埼玉県では、鋼材類と燃料油等の増額分を工事費に上乗せできる制度の運用を始めました。町としても、寄居町建設工事請負契約約款に工事材料の価格に著しい変動が生じた場合の規定があることから、他市町村の動向を見ながら検討していきます。



拠点地での種まきが始まりました(折原)



大平久幸 議員

健康活性農場支援と地域活性化は

答弁 積極的に事業推進を図ります

問 新聞に「販売が好調」と掲載されたエキナセアは、寄居町の気候や土壌に適している上、健康素材としても極めて有効です。また現在、日本ではエキナセアを外国からの輸入に頼っていることから、初の国産原料という優位性もあります。

昨年「寄居町エキナセア生産組合」を設立し、本年「健康活性農場」へと名称を変更しました。国産エキナセア栽培の先進地として消費者に選ばれる産地・製造者となり、外国産に負けない市場競争力を身につけ、早期法人化を目標に事業を展開、また、健康活性農産物栽培の拠点整備を進め、都市住民との交流事業を行い、地域の活性化にも寄与することを目的としています。

「エキナセア栽培拡大事業」「エキナセア販売戦略計画事業」「啓発事業」「法人化準備事業」「栽培地品目拡大事業」「その他、農場発展のために必要な事業」などについて伺います。

答 これまで、生産から加工まで支援してきました。今後も健康活性農場の活動に対し、関係機関の連携により、積極的に事業の促進を図りたいと考えています。

寄居ブランド戦略調査業務として、健康活性農場の推進計画や組織の法人化計画、特産品販売戦略を中心に業務委託を行っています。

エキナセア以外にも新たな健康作物を研究・栽培し、「選ばれる寄居」のまちづくりの支援を行います。

エキナセア 地元業者支援

町政を問う！ 一般質問

質問者本人が要約して原稿を書いています

町政を問う！ 一般質問 今定例会では9名の議員が登壇しました